

ろくろの、誰にでも出来る様な仕事が残つて居るので、活動しない人等に、退屈がらせずにこの仕事に参加させる事が出来る。

枯れた草を植えかへたり、趣向をちよくく變へて見た

### 唱歌遊戯

#### 第五週

唱歌 三回

ママゴト(エホンシャウカ)

女の子に歌はせる。これは殊に元氣一杯な男の子で、お友達同士で砂場等で面白く遊んでゐる様なのを、無理に

呼んで来て教へる必要はない。

遊戯 三回

ママゴト(戸倉ハル氏振付)

女兒だけで見ると見るのもよいだらう。

汽車が走る(三浦ヒロ氏振付コードモノ遊ビ参照)

り、珍しがつて眺めたり、いじつたりで、この仕事の繼續時間は一週間位は充分つき得るであらう。

これの期待効果は、共同的計畫作業への導き入れ、ミ、手技。

子供たちの自由な表現にまかせ、適當な指導に依つて、いくらでも面白く發展させる事が出来る。

然し年少組の最初は、圓形の儘で所々に二人宛手を連いでトンネルを作らせ、シュツくくくく云ひながら手で車輪の廻る様子をして馳け出す程度。

だんく慣れて来るに、車掌を定めて、發車の合圖に、停車場に着いた時に(曲の終つた時)驛名を呼ぶ様にするに興味が多い。男兒が好む遊戯である。

#### 第六週

唱歌 三回

タンポポ(エホンシヤウカ)

可愛いたんぽぽの咲いてゐるころを是非見せて置き度  
い。たんぽぽの綿毛をこつて、ふつと口で吹いて見る。

風に乗つてふわ／＼飛んで行く様子等をよく見せてか  
ら、この歌を歌ひたい。

### 遊戯 三回

かはい、こまざり(三浦ヒロ氏振付、コドモノ遊ビ参照)

可愛いこまざりの様子を表はして、子供たちにも自由な  
方向に飛んで行く様にする。年長組になつてからも、こ  
のこまざりの曲を弾くこ、待つてゐましたこばかり、急  
に活氣ついて、楽しさうに思ひ／＼に好きな方向に飛ん  
で行く。

いつも遊戯の終りにするスキップの代りに、一人か二人宛  
このこまざりをしながら、遊戯室を一廻りさせてもよい。

この機會を捉へて、自由表現をさせて見やう。曲は適當  
なのを選ぶとして、例へば、「鳩ポッポ」。

「みんな可愛い鳩ポッポになります。」

こ先生も一緒になつて、みんなに鳩ポッポの様子をさせる

「さあ／＼豆を撒きますよ。ほーら食べにいらつしやい。  
澤山召し上れ。」

「もう日が暮れますから、早くおうちへ歸りませう。」

こ先生が招く方へ、急いで羽をひろげて飛んで行く。

「夜になりました。みんなおねんねませう。」こ云ふ様  
にして導びくこ、子供たちは本當の鳩ポッポになり切つ  
て、めい／＼が可愛い表現をする。

### 第七週

唱歌 二回

復習

遊戯 三回

ボートレース(幼児の教育三十四卷第六號参照)

みんなの喜ぶ競争遊戯。先きに二三回年長組の子供たち  
が、夢中になつて競争してゐる所を見せてもらふ。

海(土川五郎氏振付律動遊戯参照)

### 第八週

唱歌 二回

チューリップ (エホンシャウカ)

もう前から、お部屋の花瓶に生けたり、植木鉢ではお馴染のチューリップではあるけれど、幼稚園の花壇に咲き揃ふまで待つ。自然に歌詞の氣持をはつきりミ味はふ事が出来るまで。

兵隊さん

これは歌詞も曲も、子供の心にピッタリ合った氣持のよい歌である。

遊戯 三回

チューリップ (記事参照)

花の咲き揃った喜びを表はし、軽やかな氣持で動作をする様に。

兵隊さん (記事参照)

歌詞も曲も動作も、よく子供に合ふので、みんなの好きな遊戯の一つである。元氣よく、きびくミ動作を揃へてする様にしたい。

かはいこまどり

The musical score is for the song 'かはいこまどり' (Kahai Komadori). It is written in 2/4 time and G major (one sharp). The score is presented in three systems, each with a treble and bass staff. The melody is primarily in the treble clef, while the bass clef provides harmonic support with chords and moving lines. The piece concludes with a final chord in the bass clef.

かはいこまざり



2.



3.



4.



5.



かはいこまざり 三浦ヒロ氏振付

準備 各々自由な方向に進む。

1 第一小節より第四小節まで。

手は羽の様に左右にのぼし上下に振り乍ら、自由な方向にスキップでこんで行き、最後の小節で止り其處に踞む。

2 第五小節より第六小節まで。

踞むだまゝ手を胸にくみ頭を左右に振る、(一小節に左右各々一回づゝふる、即ち二小節間には左、右、左、右をふるこゝになる)

3 第七小節より第八小節まで。

踞むだまゝで頭は動かさず、胸にくむでゐる手を體の兩側から後にのぼし、曲に合はせて羽の様に三回動かす。

4 第九小節より第十小節まで。

第五小節第六小節に同じ。

5 第十一小節より第十二小節まで。

第七小節より第八小節までに同じ。

以上を何回もくりかへして行ふ。

チューリップ

サイタ サイタ チューリップ ノ ハナガ  
 ナランダ ナランダ アカシロ キイロ  
 ドノハナ ミテモ キレイダ ナ

準備 圓形を作り内方を向く。

チューリップ 戸倉ハル氏振付  
 エホンシヤウカ

サイタサイタチューリップノハナガ

兩掌でチューリップの花の形を頭上高く作り乍ら、軽く小さきまみに自分の周圍を一周

して最後に花を作つたまゝで踞む。

ナランダ

手はやはり花を作つたまゝで、立つ。

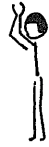
ナランダ

そのまゝで踞む。

ダンラナ



ダンラナ



ガ



ナハノプッリウユ4 タイサダイサ



ナダイレキ



モテミナハノド



ロイキ



ロシカア



アカシロ

そのまゝで立つ。

キイロ

踞む。

ドノハナミテモ

立つて、サイタサイタ……の時に同様の動作で自分の周囲を一周する。

キレイダナ

圓の内方を向き立ち、拍手五つ。

# 兵隊さん

テッポウ カツイダ ヘイタイ サン アシナミ  
おまに のつたー へいたい さん すーなを

ソロヘテ アルイテ ル トトコ トトコ  
けたてて かけてく る ばっはか ばっはか

アルイテ ル ヘイタイ サン ハ キレイダ  
かけてく る へいたい さん は いさまし

ナ ヘイタイ サン ハ ダイスキ タ  
い へいたい さん は だいすき た

ルテイルアテヘロソ ミナシア  
ルテイルア コトットコトット



ンサイタイヘ



ダイツカウポッテ



ダ



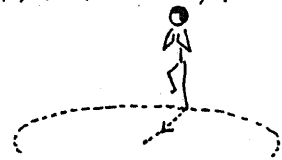
キスイダ



ハンサイタイヘ



ナダイレキハンサイタイヘ



ダイスキダ

に戻る。

やはり拍手し乍ら、今度は後方に向つて、後すざりに歩き元の位置

ヘイタイサンハ

圓の内方を向き、中心に向つて拍手し乍ら進む。

ヘイタイサンハキレイダナ

手はやはり前のまゝで圓周にそつて元氣に歩く。

アシナミソロヘテアルイテルトットコトットコアルイテル

手は前のまゝで右向けをし足ぶみ三回。

ヘイタンサン

足ぶみ力強く二回。

右手を肩にかけて鐵砲にし、左手でその右手の腕を支へるこ同時に

テッポウカツイダ

準備 圓周を作り内方を向く。

兵隊さん 戸倉ハル氏振付  
新訂尋常小學唱歌



ルケテケカ テテタケヲナス  
 ルケテケカ カバツバカバツバ



ンサイタイへ



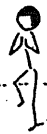
タツノニマウオ



ダ  
 キスイダ



ハンサイタイへ



イシマサイハンサイタイへ



オウマニノツタ

拍手してゐた両手を胸にあて、すぐに萬歳の時の様に上にあげる。

両手を掌を下にし前にのばし、軽く握つて手綱を持った様子をする  
 ミ同時に足ぶみを力強く二回。

ヘイタイサン

右向けをし、手綱を持った形のまゝ足ぶみ三回。

スナヲケタテテカケテクルバツバカバツバカカケテクル

手は手綱を持つたまゝ圓周にそつてスキップで行く。

ヘイタンサンハイサマシイ

第一番のヘイタイサンハキレイダナの時ミ同じ動作を行ふ。

ヘイタイサンハダイスキダ

第一番の時ミ同じ動作を行ふ。